

gravitas

NOBUHIDE KIKUCHI Ehime Prefectural Assembly Report

愛媛県議会報告書

第352回(平成29年6月)定例会など

※6月22日は国体開催まであと100日という節目の日であり、理事者も議員も全員がみきゃんポロシャツを着て議場に臨みました。



都市部からは見えにくい
地方の問題に取り組む

地方議会

vol.6

きくちち伸英

愛媛県議会議員(松山市・上浮穴郡)のぶひで



拝啓 お世話になっております皆さまへ
「きくち伸英」は一議員として汗をかいております。

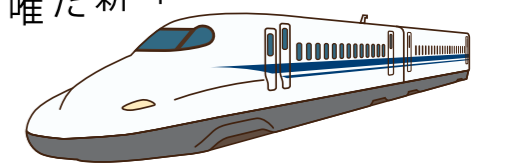
季節の便り

皆様からのお便りもお待ちしています!!

いよいよ、9月30日には天皇皇后をお迎えし、えひめ国体が開催いたします。実に6年ぶりの初の単独開催でありますから、愛媛県は一丸となり、ハード、ソフト面ともに環境を整えて参りました。県民あげてのビックイイベントとして盛り上がることを期待しています。



四国新幹線の早期具体化を目指す「四国新幹線整備促進期成会」が7月6日に発足しました。皆さまご存知のとおり、昨年、北海道にも新幹線が開通したため四国は日本で唯一の新幹線空白地帯となつてしまいました。新幹線の開通は地方創生に寄与し、経済発展による雇用創出や観光の活性化など今後の深刻な人口減少対策にも繋がります。さらには四国四県都間が約1時間以内で結ばれ、松山から新大阪まで1時間38分、東京まで4時間6分と2時間以上の時間短縮となります。今回は期成会が中心となり基本計画路線の早期建設と予算の大幅増額を国に要望いたしました。が、四国全体が一丸となり住民の知識を深めて建設機運を盛り上げていく必要があると考えます。



愛媛県議会議員(松山市・上浮穴郡選出・2期目)

菊池伸英

きくちのぶひで

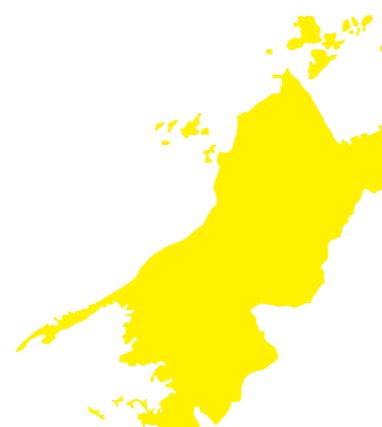
昭和39年(1964年)10月13日生(52歳)
環境保健福祉委員、議員定数等調査特別委員
地方創生・産業基盤強化特別委員
会派:無所属 所属政党:自由民主党

KIKUCHI NOBUHIDE EHIME Prefectural Assembly

きくち伸英事務所 <http://www.kikuchinobuhide.com/>
〒790-0038 松山市和泉北1丁目1-14 1F
TEL.089-934-3355 FAX.089-934-6655 info@kikuchinobuhide.com

愛媛県行政を 真剣にチェック 議会公質問

広域連携でさらに効率的な 行政運営を目指して



菊池伸英Q. 四国4県共同の研究・政策提言機関を、本県がリーダーシップを取って設置する必要があると考えるがどうか。

A. 答弁(抜粋) Ⅱ今年度、四国4県と四国経済連合会では、地元銀行系のシンクタンクに委託して新幹線導入の波及効果等について調査を行うなど、必要に応じて、4県が連携して取り組みを進めていることから、現時点で、4県共同の研究、政策提言機関を設置することは考えていない。

菊池伸英の答弁に関する所見
「四国4県共同の研究・政策提言機関を恒久的に設置し、過疎対策などの共通課題に取り組みべきだと考える」



菊池伸英Q. 近い将来、積極的に市町と連携し、地域課題についての情報の横展開を進めるべきと考えるがどうか。

A. 答弁(抜粋) Ⅱこれまで151の連携施策を創出・実行し、具体の成果も現れている。先進的な取組事例を互いに共有し、自らの施策に活用するため、「行革甲子園」や「先進事例研究会」を実施してきた。今後とも、これらの取組みを通じて、様々な施策の横展開を進める。

地方の環境を充実させて創生の一助に

若者の未来



菊池伸英Q. 地方創生に寄与する本県の高等教育行政についての所見はどうか。

A. 県の答弁(抜粋) Ⅱ地方創生の推進に当たっては、地域産業の発展に貢献する優れた人材の育成や、産学官連携による研究開発が重要であり、これらの機能を併せ持つ大学などの高等教育機関の果たす役割は大きいことから、県版総合戦略においても、地元大学を重要なパートナーと位置付け、様々な施策を積極的に展開している。

菊池伸英Q. 本県で学んだ学生が、県内で就職し定住するための施策など、県が企業と若者の懸け橋となり県内就職率の向上に一役買うつもりはないか。

菊池伸英Q. 若年者地域雇用マッチング事業の実績と、今後の取組についてはどうか。

A. 答弁(抜粋) Ⅱ平成26年度からの3年間で94名が研修派遣先の食品製造業等に就職しました。この実績を踏まえ、今回の補正予算案に、ものづくり企業が実施する新規雇用者への人材育成研修を支援する事業を計上している。県では、ジョブカフェ愛Workを核に、情報サービス業や宿泊・飲食サービス業における職業訓練にも取り組んでいる。

菊池伸英の答弁に関する所見
「その他、職業訓練や人材確保に取り組んでいると言いが、さらに効果的な施策に期待したい」



私の議員生活の テーマと言っても 過言ではない 障がいケア



菊池伸英Q. 発達障がい の定義と発現規模はどうか。

A. 答弁(抜粋) Ⅱ発達障害者支援法により「自閉症、アスペルガー症候群その他の広汎性発達障害、学習障害、注意欠陥多動性障害その他これに類する脳機能の障害であつてその症状が通常低年齢において発現するもの」と定義されており、発現規模は、厚生労働省によると、広汎性発達障害は1〜2%、学習障害は2〜10%存在し、就学前後までに発現する注意欠陥多動性障害については、学童期の子どもに3〜7%存在すると言われている。

菊池伸英Q. 発達障がい児の早期発見と個別支援の具体策、発達障がい児の家族等への支援の状況はどうか。

A. 答弁(抜粋) Ⅱかかりつけ医等を対象に発達障がい対応力向上研修等を実施するとともに、市町では、乳幼児健診等において、発達障がい児の早期発見に努めている。県発達障がい者支援センターでは、家族等への支援のため、平成25年度に発達障がい者支援ハンドブックを作成し、発達障がいへの対応や支援機関等の情報提供を行っている。また、県では、東・中・南予に地域支援マネージャーを配置し、長期的な支援に向けた関係機関の連携強化に取り組んでいる。

東京五輪を見据えた地方のインバウンド

観光と産業基盤

菊池伸英Q. 松山港の整備や受入態勢は、現在、どのような状況か。

A. 答弁(抜粋) Ⅱ松山港は、数多くの定期旅客船や貨物船等に利用されており、岸壁やその背後地では、人や車の乗降や、貨物の積下ろし等の作業が恒常的に行われていることから、クルーズ船を受け入れるためには、既存の港湾利用者との調整が必要。松山港において、現在、このような調整が可能で、十分な水深や延長を有する施設は外港地区第1埠頭であり、出入国管理等のための保安設備も有していることから、松山港では過去5年間で13回、クルーズ船の寄港実績がある。



菊池伸英Q. 将来的には、松山港外港地区までJR路線を引き込むことで、貨物鉄道を利用して四国全域に流通させるシステムを整備することが必要と考えるがどうか。

A. 答弁(抜粋) Ⅱコンテナ港湾とJRの直結による輸送方式は、首都圏の港湾で検討が進められているが、鉄道整備に係る費用の負担やコンテナ規格への対応、荷主需要の創出など、課題も多いと聞いている。一方、松山港のコンテナ貨物の大部分は、松山港周辺立地企業の原材料及び製品であり、トラック輸送により円滑に物流されているため、現時点ではJR路線の必要性は低いと考えている。

